

夢のたねまき楽校おもせ



令和8年9月1日(火)第10つづ



「ありがとうの花」作詞・作曲 坂田おさむ

- 1 ありがとうっていったら みんながわらってる
そのかおがうれしくて なんどもありがとう
まちじゅうにさいてる ありがとうの花
かぜにふかれ あしたに とんでいく
ありがとうの花がさくよ
きみのまちにも ホラ いつか
ありがとうの花がさくよ
みんながわらってるよ



保健室の前のプランターに咲く大輪の花。その名はタイタンビカス。調べてみると、アメリカフヨウとモミジアオイを掛け合わせて作られた花なのだそうです。夏空とタイタンビカスのコントラストに見とれ、シャッターを押しているうちに、上記の歌の歌詞が懐かしく蘇ってきました。

ある大学の研究によると、「ありがとう」という言葉は、その言葉を発する側に健康状態や幸福度が向上するという研究結果もあるそうです。ならば、「ありがとうの花」が咲き誇る面瀬小学校を子供たち、教職員、地域、保護者のみなさんと一緒に創っていきたいと考えています。



「おもせ夢の水族館(おもすい)」リターンズ!!



ユーモアと愛らしい動きで子供たちの目を楽しませ、癒やしを与えてくれた「おもせ夢の水族館」がまたまたオープンします!!第2弾のテーマは「黒潮にのって気仙沼に来た魚達」環境学習支援ボランティアの亀谷征功さんが、岩井崎周辺で採集した生き物をナチュラル展示してくれます。

公開は9月7日(月)から約2週間となる予定です。

今度はどんな生き物たちが登場するのか楽しみです。来校の際はぜひご覧ください。

裏面に続く

生き物の楽園「オモトープ」もいい感じなのです



面瀬小学校の校庭の南側にある通称「オモトープ」。

ドイツ語で「生き物」を表す bio(ビオ)と「場所」を表す top(トープ)を合わせてビオトープ。それが面瀬小学校にあるから、面瀬のオモとビオトープを合わせて、「オモトープ」と命名されたのだそうです。

夏休みの間に先生方でいい感じに整備をし、子供の手で「オモトープ」の看板もリニューアルしました。

毎日、オモトープの様子を観察しに行きますが、まさにそこは水に集う生き物の楽園(^o^)。下の生き物たちが毎日楽しそうに生活し、集っています。



【メダカ】



【イモリ】



【シオカラトンボ】



【クロイトトンボ】

他にも、トノサマガエル、ドジョウ、アメンボ、ミズカマキリ、キイトンボ、アオイトトンボ、ショウジョウトンボ、ショウリョウバッタなどが確認できました。